

SB シートベルト

|                            |   |                       |    |
|----------------------------|---|-----------------------|----|
| 作業上の注意 .....               | 2 | シートベルト警告システム .....    | 9  |
| ・ SRS エアバッグ、プリテンショナーシート    |   | ・ システム概要 .....        | 9  |
| ベルト付き車に関する注意 .....         | 2 | ・ 構成部品取り付け位置 .....    | 9  |
| ・ 注意 .....                 | 2 | ・ 作動説明 .....          | 9  |
| シートベルト .....               | 3 | ・ 回路図 .....           | 10 |
| ・ フロントシートベルトの取り外し、取り付      |   | ・ コンビネーションメーター入出力信号基準 |    |
| け .....                    | 3 | 値 .....               | 10 |
| ・ リヤシートベルトの取り外し、取り付け ..... | 4 |                       |    |
| ・ 点検 .....                 | 6 |                       |    |

A

B

C

D

E

F

G

I

J

K

L

## 作業上の注意

PFP:00001

### SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルト付き車に関する注意

JHS0012E

- 警告：**・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム関連の構成部品脱着及びハーネス脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリーマイナス端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。（エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を放電させるため。）
- ・ 構成部品の脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。
  - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、ハンダ等による修理はしないこと。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。
  - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルト回路及び単品状態での点検をするときはサーキットテスター等の電気テスターを使用しないこと。（テスターの微電流による作動防止）
  - ・ エアバッグモジュール及びプリテンショナーシートベルトのコネクタに、ドライバー等の異物の差し込みはしないこと。（静電気による作動防止）
  - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトには、識別として黄色のハーネスコネクタを使用し、他のハーネスとの区別をしている。
  - ・ 安全に整備作業を行うため、「SB シートベルト」及び「SRS SRS エアバッグ」を参照すること。

## 注意

JHS0008E

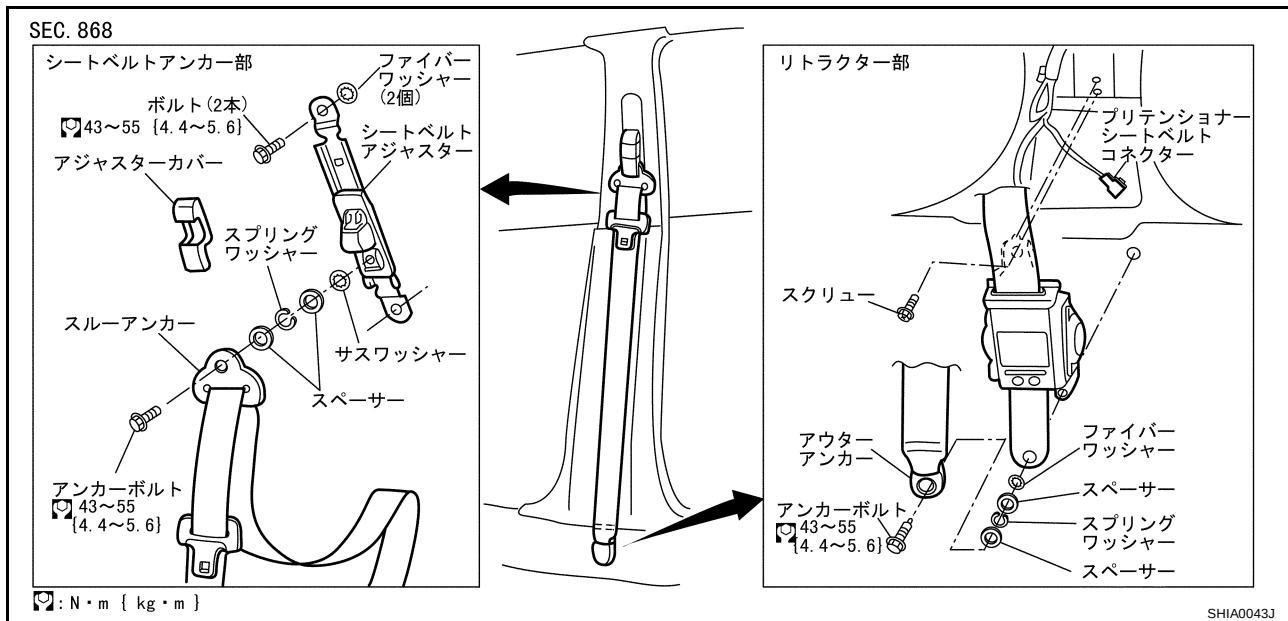
- ・ プリテンショナーシートベルトを単品で置くときは、コネクタ部に短絡用コネクタを接続するか、マニホールドケース部の中間ハーネスコネクタを外すこと。（万一の作動に対する備え）
- ・ 80℃以上の高温になるところに置かないこと。
- ・ プリテンショナーシートベルトコネクタは、シートベルト全てのアンカー部が締結状態で抜き差しすること。
- ・ プリテンショナーシートベルト廃却要領は、「SRS SRS エアバッグ」の「[エアバッグモジュール及びプリテンショナーシートベルトの廃却処理](#)」(SRS-32 ページ) を参照。
- ・ プリテンショナーシートベルトを交換及び脱着、また、プリテンショナーシートベルトセンサーコネクタを再接続した後は、システム機能を SRS エアバッグ警告灯を使用して正常か点検すること。「SRS SRS エアバッグ」の「[システム点検](#)」(SRS-9 ページ) を参照。
- ・ プリテンショナーシートベルト作動後のバックル及びシートベルト ASSY は再使用しない。
- ・ オイル、グリス、洗浄油、水等を付着させないこと。
- ・ 落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合は交換となる。
- ・ ウエビングが切れていたり、ほつれていたり、損傷しているものは、シートベルト ASSY で交換する。
- ・ シートベルト ASSY を交換する場合は純正部品を使うこと。

## シートベルト

PF:86884

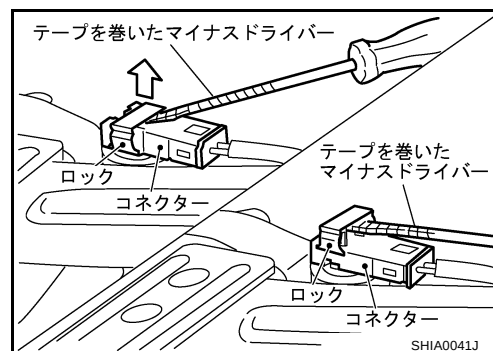
### フロントシートベルトの取り外し、取り付け

JHS0008F



#### 取り外し

1. キースイッチを OFF し、バッテリーマイナス端子を外す。
2. アジャスターカバーを取り外す。
3. ショルダアンカーボルトを取り外す。
4. センターピラーアッパー及びロアガーニッシュを取り外す。「E」 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(E1-27 ページ) を参照。
5. プリテンショナーシートベルトコネクタを取り外す。  
**注意:**
  - ・ プリテンショナーシートベルトコネクタの脱着は、テープを巻いたマイナスドライバーをロック部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを取り外す。
  - ・ コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。
6. フロアアンカーカバーを上側にスライドさせる。
7. フロアアンカーボルトを取り外す。
8. プリテンショナーシートベルトリトラクターを取り付けているスクリューを取り外し、シートベルト ASSY を取り外す。



#### 取り付け

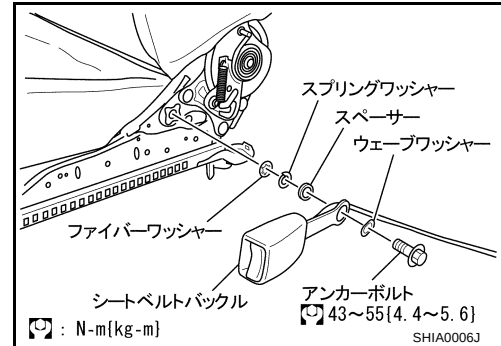
取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

## シートベルト

### バックル部の取り外し、取り付け

#### 取り外し

1. フロントシートを取り外す。「SE シート」の「**取り外し、取り付け**」(SE-5 ページ)を参照。
2. スクリューを外し、シートクッションフィニッシャーインナーを取り外す。
3. アンカーボルトを外し、バックルを取り外す。



#### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

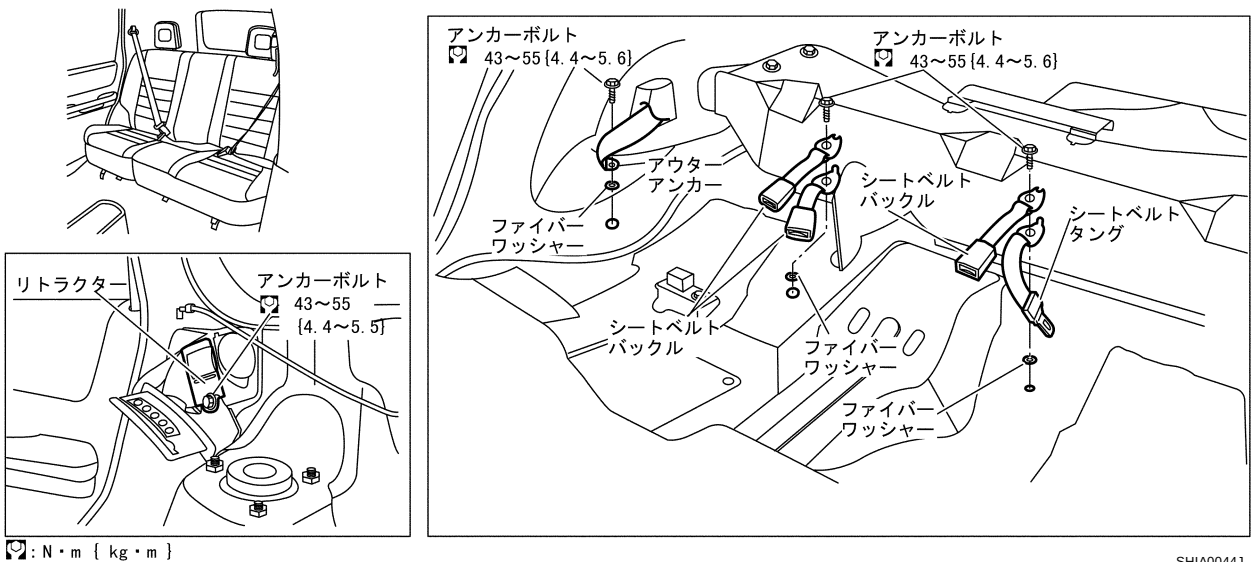
### リヤシートベルトの取り外し、取り付け

JHS0008G

#### 中央2点式リヤシートベルトの取り外し、取り付け

SEC. 869

中央2点式



#### 取り外し

1. リヤシートクッションをはね上げる。
2. ラゲッジサイドロアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「**取り外し、取り付け**」(EI-27 ページ)を参照。
3. アウターアンカー及びフロアアンカーボルトを取り外す。
4. シートベルトリトラクターを取り付けているアンカーボルトを取り外し、シートベルト ASSY を取り外す。

#### 取り付け

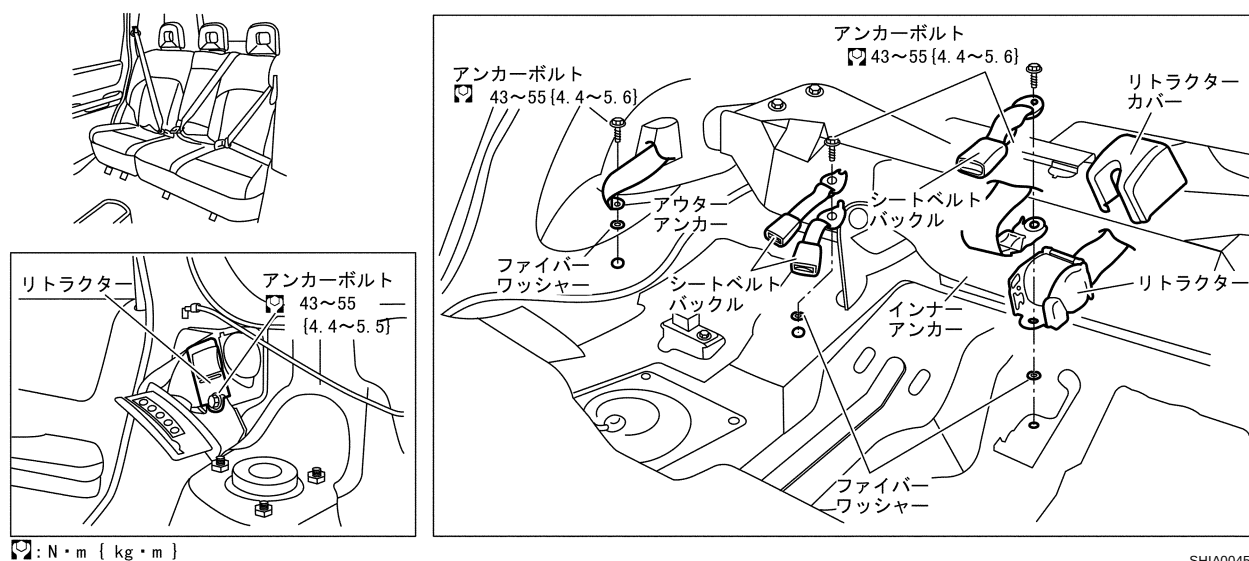
取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

# シートベルト

## 中央3点式リヤシートベルトの取り外し、取り付け

SEC. 869

中央3点式



### 左右リヤシートベルトの取り外し

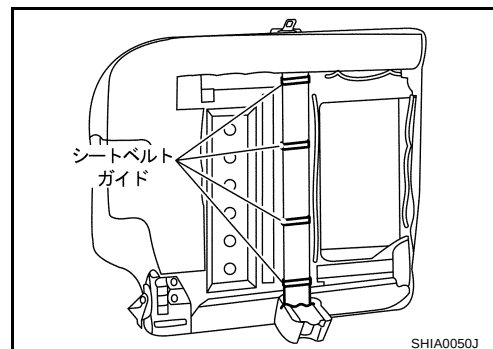
1. リヤシートクッションをはね上げる。
2. ラゲッジサイドロアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-27 ページ) を参照。
3. アウターアンカー及びフロアアンカーボルトを取り外す。
4. リヤシートベルトリトラクターを取り外す。

### 左右リヤシートベルトの取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行うこと。

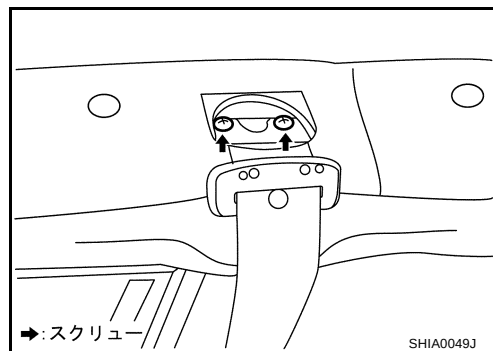
### 中央リヤシートベルトの取り外し

1. リヤシートクッションをはね上げる。
2. シートベルトリトラクターカバーを取り外す。
3. 中央シートベルトリトラクターを取り付けているアンカーボルトを取り外す。
4. リヤシートバックを取り外す。「SE シート」の「[取り外し、取り付け](#)」(SE-11 ページ) を参照。
5. リヤシートバックボードを取り外す。
6. リヤシートバックトリム上部を取り付けているホグリングを取り外す。
7. リヤシートベルトガイドを取り外す。



## シートベルト

8. リヤシートベルトを取り付けているスクリューを取り外す。
9. リヤシートバックからリヤ中央シートベルト ASSY を取り外す。



### 中央リヤシートベルトの取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

## 点検

JHS0008H

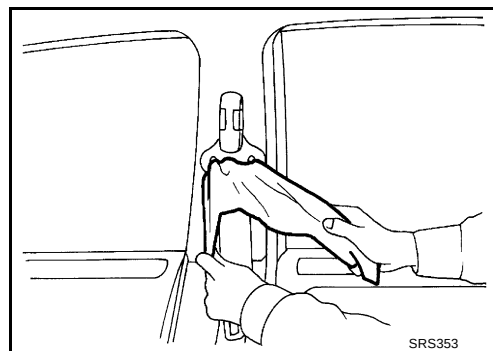
### 事故後の点検

衝突後は、リトラクター部、シートベルトアンカー部、フロアアンカー部及びアウターアンカー部について損傷、ゆがみ等がないか点検すること。日産は下記のような場合、重大な人身の危害をもたらす可能性があるため交換を進めている。

- ・ 衝突した場合。
- ・ シートベルト ASSY 車両取付部に損傷がある場合。
- ・ 正常に作動しない場合。

### 事前点検

1. 正常かどうかシートベルト警告灯で点検する。
  - ・ シートベルト未装着状態でキースイッチ ON にするとシートベルト警告灯は点灯、装着すると消灯する。
2. シートベルトリトラクター及びバックルのアンカーボルトが確実に締め付けられているか確認する。
3. シートベルトショルダーアンカーの軸が自由に回転するか、シートベルトアジャスターが適切に作動するか、また、確実にかみ合うか確認する。
4. リトラクターの作動点検
  - a. ベルトを全て引き出して、ねじれ、切れ、その他の損傷がないか点検する。
  - b. ベルトを巻き戻す。ベルトがスムーズかつ完全にリトラクターに戻るか確認する。ベルトがスムーズに戻らないときは、ほこりなどが原因の可能性もあるので、きれいな布などで上側のスルーアンカー部を清掃する。
  - c. シートベルトを締める。バックルにしっかりシートベルトが止まっているか確認する。
  - d. シートベルトを外す。ベルトを放し、ベルト及びタングが元の位置に戻るか確認する。
5. ほかのシートベルトも必要であれば上記の処置をする。



### シートベルトリトラクターの車載上点検

#### ELR 及び ALR

- ・ ELR は、急ブレーキなどの緊急時にリトラクターをロックさせ、ベルトがそれ以上伸びることを防ぐ機構である。
- ・ 後席 3 点式シートベルト（外側席）には、ALR（チャイルドシート固定機構）モードがあり、チャイルドシートを取り付ける際に使用する。ALR モードは、シートベルトを完全に引き出すと機能し、ベルトを少しずつ戻すと、特定

## シートベルト

の位置でロックして、ベルトがそれ以上引き出せないようになる。ベルトを全部巻き戻すと、ALR モードは解除される。

- 点検には、静的点検と動的点検があり、リトラクターが正常に作動しているかは、以下の項目を行って判断する。

### ELR 静的点検

ベルトを前方向にすばやく引くと、リトラクターがロックし、ベルトが引き出せなくなるか。

### ALR 静的点検

- シートベルトが「カチリ」と鳴るまでベルトをリトラクターから全て引き出す。
- ベルトを少しずつ戻したとき、「カチカチ」と作動音が聞こえるか。
- ベルトを引き出そうとしたとき、ベルトがロックされ、それ以上引き出せなくなるか。
- ベルトを全て戻したとき、ALR モードが解除されるか。

### ELR 動的点検

**警告：**・他の車や障害になるものがなく、安全な広い場所で以下のテストを行うこと。

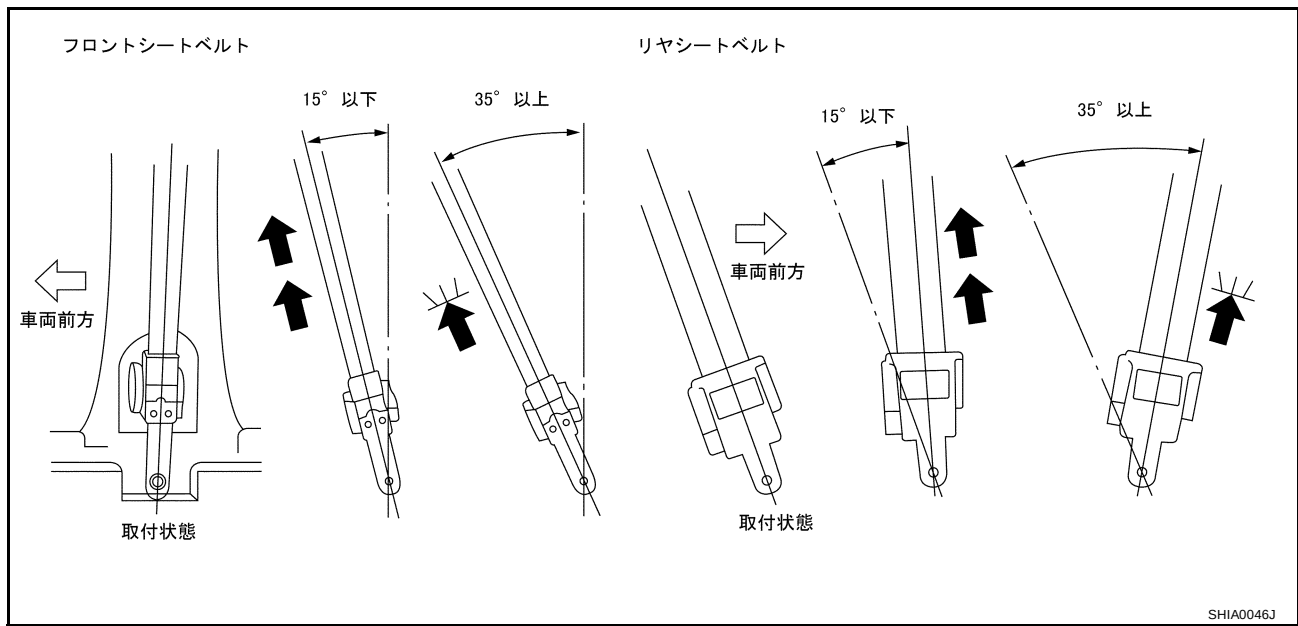
- 舗装され、乾いている路面で行い、濡れている路面、舗装されていない路面や一般道路、高速道路などでは行わないこと。（事故や人身事故につながる恐れがある。）
- 運転手と助手席乗員は、リトラクターがロックされなかった場合を想定し、その為の準備をする。

- 運転席、助手席のシートベルトを締める。
- 時速約 16km で走行する。
- 未定の急停車を乗員に通知し、運転手と助手はリトラクターがロックしない場合を想定し、そのための準備をした上で、しっかりブレーキをかけ、急停止をする。
- 停車している間、リトラクターがロックされ、ベルトがそれ以上伸びないことを確認する。リトラクターがロックしていなければ、リトラクターの単品点検をする。

### シートベルトリトラクターの単品点検

- シートベルトリトラクターを取り外す。
- 図に示されるように、リトラクターをねじらないで、車載取付状態の位置からシートベルトリトラクターを傾け、ゆっくりとシートベルトを引き出す。
  - 15° 以下傾けた場合：ベルトは、引き出せる。
  - 35° 以上傾けた場合：ベルトは、引き出せない。

## シートベルト



正常に作動しなければ、シートベルト ASSY を交換する。

# シートベルト警告システム

## シートベルト警告システム

PFP:25045

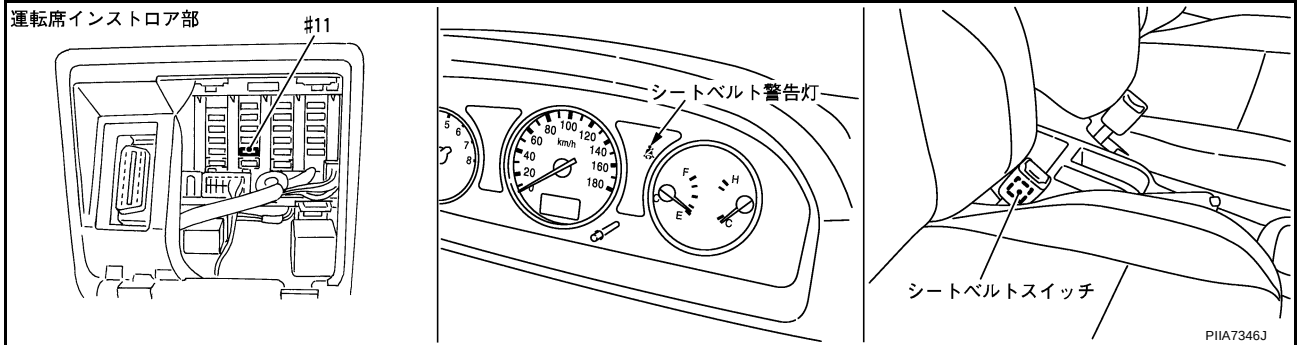
### システム概要

JHS000YN

キースイッチが ON の状態で運転席シートベルトを着用しないとコンビネーションメーター内にあるシートベルト警告灯が点灯し、運転席乗員にシートベルトの着用を促す。

### 構成部品取り付け位置

JHS000YO



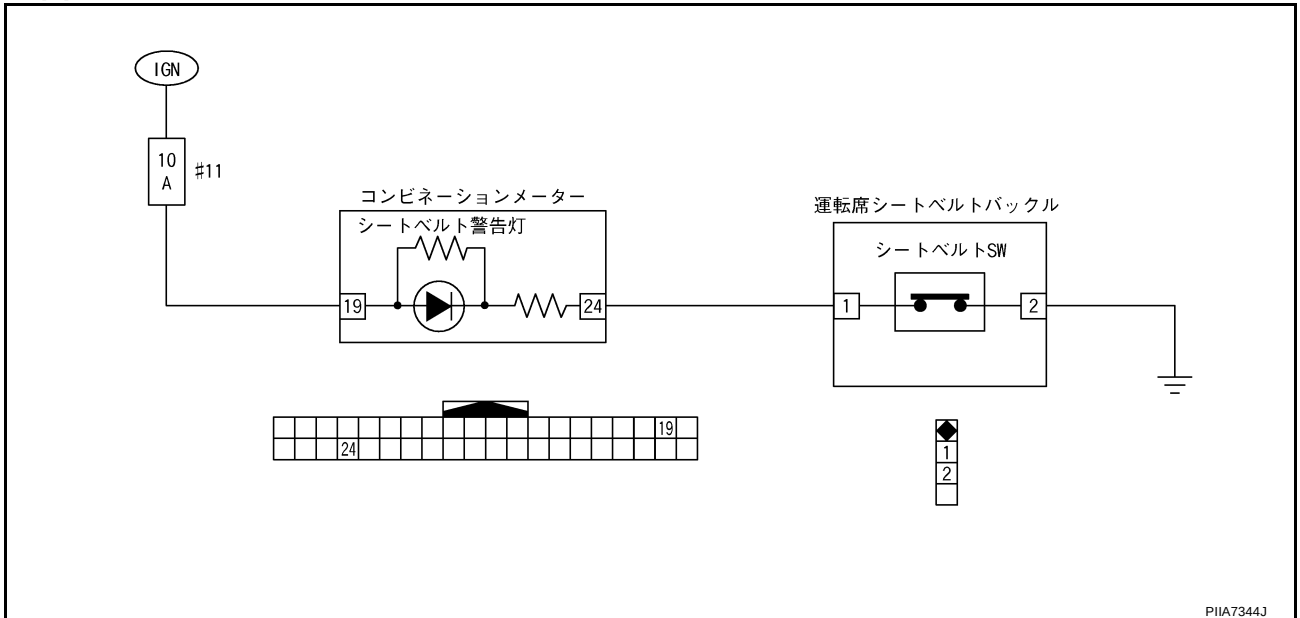
### 主な構成部品とその機能

| 構成部品       | 機能                                                         |
|------------|------------------------------------------------------------|
| シートベルトスイッチ | シートベルトバックル内のシートベルトスイッチの ON、OFF によりシートベルト警告灯の制御を行う。         |
| シートベルト警告灯  | シートベルトスイッチが ON になることにより、シートベルト警告灯が点灯しシートベルトが非着用であることを知らせる。 |

### 作動説明

JHS000YP

#### 回路図

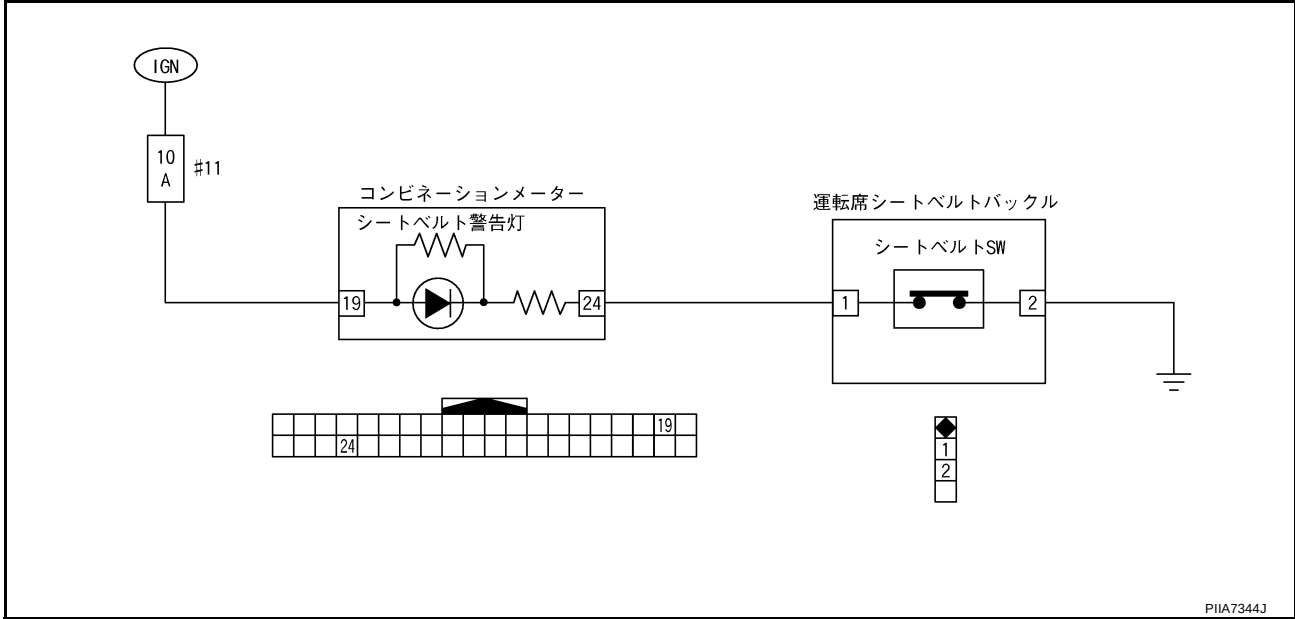


- ・キースイッチを ON にするとコンビネーションメーター 19 番端子に電源が供給される。
- ・キースイッチを ON の状態でシートベルトを着用しないとシートベルトスイッチは ON の状態を維持し、コンビネーションメーター 24 番端子から運転席シートベルトバックル 1 番端子、シートベルトスイッチを通り、運転席シートベルトバックル 2 番端子からアースすることでシートベルト警告灯が点灯する。
- ・シートベルトを着用した時点でシートベルトスイッチは OFF になり、シートベルト警告灯は消灯する。

シートベルト警告システム

回路図

JHS0012A



コンビネーションメーター入出力信号基準値

JHS0012B

| 端子番号 | 信号名称            | 測定条件  |                            | 基準値 (V) |
|------|-----------------|-------|----------------------------|---------|
|      |                 | キー SW | 操作又は状態                     |         |
| 19   | コンビネーションメーター 電源 | ON    | —                          | 約 12    |
| 24   | シートベルト警告灯制御信号   | ON    | シートベルト非装着時 (シートベルトスイッチ：ON) | 約 0     |
|      |                 |       | シートベルト装着時 (シートベルトスイッチ：OFF) | 約 12    |